

下鴨オンライン 校長道徳『論語』

—孔子名言より—

本日の名言—5月1日其の一

- 君子は和して同ぜず
小人は同じて和せず

意味

・優れた人物は、人と協調するが主体性を失わず、小人物は、表面では同調するが心から親しくなることはないということ。

→主体性を持つということは、周囲への心配りや相手に対する気遣いを無視しては確立しないのではないかと考えます。学校教育目標の源となっている名言です。(西村解説例)

本日の名言—5月1日其の二

・十有五にして学を志す。

三十にして立つ。四十にして惑わず。

五十にして天命を知る。六十にして耳したがう。

七十にして、心の欲するところに従えども、のりをこえず。

意味

私は十五歳のとき聖人を習得する学を志した。三十歳になつたとき、精神的にも経済的にも独立することができた。四十歳で自分の人生に惑いがなくなつた。五十歳で天命を与えられたことを自覚した。六十歳となり何を聞いても抵抗感も驚きもなくなつた。七十歳となつてからは、心のままに言動しても、決して道徳的規範を外れることはなくなつた。

→孔子の人生を一度掘り下げて調べてみて下さい。決して楽な人生ではなかつたことに気づくはずです。苦難の道のりに対して、目標の設定をして自分自身の人生観を見い出したのです。(西村解説例)